

令和7年度 上田市立丸子北中学校 学校評価シート

学校教育目標	願う生徒像
自主・敬愛・勇健	自主 ・進んで学習し、学力と向学心を高める生徒 ・よく考え、自ら判断し、正しい行動をする生徒
	敬愛 ・自他ともに大切に思いやりのある生徒 ・感謝の気持ちを言葉や行動で伝える生徒
	勇健 ・失敗してもあきらめずに物事をやりとげる生徒 ・笑顔と健康な心身で元気に生活する生徒

総合評価					
成果と課題	A	B	C	D	改善策・向上策
・学校全体で生徒が落ち着いて目標に向かって意欲的に活動する様子が見られ、生徒自身もそのことに自信をもって生活している様子が見られる。 ・どの生徒も真面目に授業を受けていた。挨拶もしっかりできてきている生徒も多く、感心しました。 ・生徒アンケートの学校目標に関する項目で90%前後の高い数字が達成度の高さを示している。 ・欠席傾向数が生徒数に比べるとやや多い。日頃見落としがちな生徒の一コマにも目を向けられるようにしてほしい。 ・「家庭の日」は良い試みだと思う。ただ、教職員と保護者の思いとは時にずれもある。保護者の声に真摯に向き合い、0か100でなくて101になるような工夫を。 ・大規模校にはない特色を持つ良い中学校と言える。具体的には地域とのつながりが強く、PTA役員も積極的で、それを生徒も感じている。 教室の雰囲気は良く学習に対する生徒の意欲も総じて高いが、学校外(家庭)でも生徒に関心を持つ人(家族)が増えると更なる学力向上にもつながると思う。					
・「自主・敬愛・勇健」について、授業参観や文化祭での生徒の様子からしっかりと目標が達成されているように思う。 ・「自主」自分から学びながら学習に取り組んでいる生徒が多く、「自主」が定着しつつある。家庭での学習習慣は周囲の環境に左右されることもあるため、家庭とも同じ方向を向いて子どもの力を伸ばすため協力していきたい。 ・「敬愛」相手の良さを認めたり挨拶する生徒が9割をこえ敬愛についてもよい水準である ・「勇健」元気に登校する生徒が減少していることが気がかりである。	○				・生徒の問いを大切に授業の構築をさらに進めてほしい。学習内容の定着にも留意してほしい。 ・挨拶 無言清掃をさらに進めてほしい。 ・地域や家族などが各生徒への「見守り」あるいは「関心を持つこと」が重要かもしれない。「地道なやり方」だが、それ以外に効果のある手段もないと思われる。 ・「敬愛」に関連して、SNS等の利用によって生ずる様々な問題や悩み等への対処のための研修及び生徒への具体的な支援に一層の努力と一人ひとりに寄り添った対応をお願いします。
・どの教室でも生徒が追究しやすいように先生方の工夫、熱意が見られた。 ・授業に集中する割合が高い。自らの学びにつながる課題設定を	○				・課題追究を数人でする場をつくり、またその結果を互いに知り合う場がほしい。 ・授業の基本として常に大事にしてほしい。
・授業中に積極かつ自由に発言できる雰囲気があるのが良い。 ・教材の利用や提示の仕方について先生方の工夫が理解できる ・PC利用資料提示や操作するなど工夫されている	○				・PCを利用した授業をさらに一層工夫してほしい。 ・PCの授業も大切ですが、過程(プロセス)も重要だと思いました。
・全国学調の結果考察から、やや全国平均と比較して低い教科もみられる。 ・生徒の多様性に対応した授業を意識している。		○			・授業の最後の10分で定着の場を設けるあるいは補う場を設ける等してほしい。 ・「ねらい」も大切だが「見とどげ」の時間を確保して大事にしたい
・生徒評価が95%近くある。日頃の学級経営が良い方向だ。 ・総合的時間参観の際、互いの良さを認め合う姿が十分認められた。	○				・生徒の学びの良さを様々な場で評価しあってほしい。 ・一人一人の様子に気を配り必要に応じ生徒に声を行うことを常に意識していることが大事。
・欠席傾向数への対応、悩みなどを抱える生徒への対応にもう一息か。	○				・SCなど様々な職員や組織を使って、早めに気づいて共感的に対処してほしい。 ・「相談できる人がいない」等については個別対応していきたい。
・学校がコンパクトになってきて職員生徒の連絡報告が良くなってきていると思われる ・生徒アンケートの数値が高いことがありがたい。		○			・欠席傾向生や登校時に気になる生徒、友人関係、親子関係に悩みがある生徒には様々なレベルの職員等が連携してかわり支援の手を差し伸べてほしい。
・グループ学習の様子から先生方の日頃の成果が感じられる ・以前と比べて大きな問題行動等が少なかったと思われる。職員が連携して指導にあたっているとと思われる。		○			・生徒が「生き生き」と活動していると感じました。 ・目の届かないところであるかもしないと思い、複数の目で対処していきましょう。
・職場体験に生徒が楽しんで取り組んでいるのが文化祭の展示からわかった。 ・職業体験の機会は制限されるため、地元企業の協力を得たい。		○			・地元企業の協力を得て様々な職種で受け入れられるように。 ・進路指導とキャリア教育の違いを意識し発達段階に応じた指導・助言をお願いします。
・文化祭での発表や展示から成果が理解できる。 ・丸子コスモス大学については学びも多かったが、いろいろ課題が整理され新たな方向に向かうということだよ。	○				・次年度より「探究」の時間の充実が図られることに賛成です。 ・新たな方向に向かうのを支持します。最初は大変だが生徒とともに創ってほしいと思います。
・地域の行事にも積極的に保護者共々、積極的に参加している。 ・以前と比べれば地域の活動への参加が減ってはいる自治会でも求めているのが課題。		○			・自治会としても生徒が参加し活躍できる機会を用意する必要がある。 ・自治会や公民館も努力する必要がある。
・PTA役員の積極性が高い。 ・PTAの方々が本校生徒のために力を貸してくれているのがありがたい。	○				・今後もPTA活動への負担軽減も念頭に置きながら、活動内容の精選を図ってきたい。 ・引き続き、本校の子どもたちのために協力して活動したい。
・教育課程研究協議会が形を変えてきているが、授業の参観は継続して行きたい。		○			・「先生が変われば授業が変わる。授業が変われば子どもも変わる」と教わりました。 ・成果が日頃の教育活動に一層反映できるようにお願いします。

領域	対象	評価項目	評価の観点
学校教育	学習指導	ねらいが明確な授業	授業のねらいを明確にし、生徒が追究しやすいように努めているか。
		メリハリのある授業	教材の工夫、学び合いの場の設定など、生徒が活発に取り組める授業づくりに努めているか
		授業の見とどげ	振り返りの場面を設定し、学力の定着や見とどげを丁寧に行なっているか
	生徒指導	カウンセリングマインドに基づく生徒指導	生徒相互の良さを認め合う活動や温かい言動が取れる教育を実践しているか 教育相談や進路相談を含め、生徒の思いをくみ取る活動がなされ家庭と連携して指導しているか
		職員の共通理解とシステムで指導できる体制	報告、連絡、相談の体制は、係を中心に系統的に機能しているか
	教育課程	道徳授業・人権教育	実践と評価を繰り返し指導し、いじめの防止・早期発見・指導ができたか
キャリア教育		生徒が将来の目標をもてるキャリア教育が進められているか	
学校運営	地域との連携	地域の方が喜んで来校する「丸子コスモス大学」「北中CS」の運営の工夫ができたか	地域の方が喜んで来校する「丸子コスモス大学」「北中CS」の運営の工夫ができたか
		地域の実態や思いを理解し、集会や作業へ生徒が意欲的に参加できるよう働きかけたか	地域の実態や思いを理解し、集会や作業へ生徒が意欲的に参加できるよう働きかけたか
	PTA活動	担当部はPTAと協力して意義ある活動ができたか	担当部はPTAと協力して意義ある活動ができたか
研修	職員研修	研修で学んだことを生徒に還元できたか	研修で学んだことを生徒に還元できたか

成果と課題	A	B	C	D	改善策・向上策
・どの教室でも生徒が追究しやすいように先生方の工夫、熱意が見られた。 ・授業に集中する割合が高い。自らの学びにつながる課題設定を	○				・課題追究を数人でする場をつくり、またその結果を互いに知り合う場がほしい。 ・授業の基本として常に大事にしてほしい。
・授業中に積極かつ自由に発言できる雰囲気があるのが良い。 ・教材の利用や提示の仕方について先生方の工夫が理解できる ・PC利用資料提示や操作するなど工夫されている	○				・PCを利用した授業をさらに一層工夫してほしい。 ・PCの授業も大切ですが、過程(プロセス)も重要だと思いました。
・全国学調の結果考察から、やや全国平均と比較して低い教科もみられる。 ・生徒の多様性に対応した授業を意識している。		○			・授業の最後の10分で定着の場を設けるあるいは補う場を設ける等してほしい。 ・「ねらい」も大切だが「見とどげ」の時間を確保して大事にしたい
・生徒評価が95%近くある。日頃の学級経営が良い方向だ。 ・総合的時間参観の際、互いの良さを認め合う姿が十分認められた。	○				・生徒の学びの良さを様々な場で評価しあってほしい。 ・一人一人の様子に気を配り必要に応じ生徒に声を行うことを常に意識していることが大事。
・欠席傾向数への対応、悩みなどを抱える生徒への対応にもう一息か。	○				・SCなど様々な職員や組織を使って、早めに気づいて共感的に対処してほしい。 ・「相談できる人がいない」等については個別対応していきたい。
・学校がコンパクトになってきて職員生徒の連絡報告が良くなってきていると思われる ・生徒アンケートの数値が高いことがありがたい。		○			・欠席傾向生や登校時に気になる生徒、友人関係、親子関係に悩みがある生徒には様々なレベルの職員等が連携してかわり支援の手を差し伸べてほしい。
・グループ学習の様子から先生方の日頃の成果が感じられる ・以前と比べて大きな問題行動等が少なかったと思われる。職員が連携して指導にあたっているとと思われる。		○			・生徒が「生き生き」と活動していると感じました。 ・目の届かないところであるかもしないと思い、複数の目で対処していきましょう。
・職場体験に生徒が楽しんで取り組んでいるのが文化祭の展示からわかった。 ・職業体験の機会は制限されるため、地元企業の協力を得たい。		○			・地元企業の協力を得て様々な職種で受け入れられるように。 ・進路指導とキャリア教育の違いを意識し発達段階に応じた指導・助言をお願いします。
・文化祭での発表や展示から成果が理解できる。 ・丸子コスモス大学については学びも多かったが、いろいろ課題が整理され新たな方向に向かうということだよ。	○				・次年度より「探究」の時間の充実が図られることに賛成です。 ・新たな方向に向かうのを支持します。最初は大変だが生徒とともに創ってほしいと思います。
・地域の行事にも積極的に保護者共々、積極的に参加している。 ・以前と比べれば地域の活動への参加が減ってはいる自治会でも求めているのが課題。		○			・自治会としても生徒が参加し活躍できる機会を用意する必要がある。 ・自治会や公民館も努力する必要がある。
・PTA役員の積極性が高い。 ・PTAの方々が本校生徒のために力を貸してくれているのがありがたい。	○				・今後もPTA活動への負担軽減も念頭に置きながら、活動内容の精選を図ってきたい。 ・引き続き、本校の子どもたちのために協力して活動したい。
・教育課程研究協議会が形を変えてきているが、授業の参観は継続して行きたい。		○			・「先生が変われば授業が変わる。授業が変われば子どもも変わる」と教わりました。 ・成果が日頃の教育活動に一層反映できるようにお願いします。